

ドキュメンタリー映画

母の手仕事 一日々の暮らしの記録



衣 食 住

着物を解く洗い張り、夏掛け布団を作る、子どもの浴衣を作る、半纏を作る、おはぎを作る、漬物をつける、正月料理を準備する、タライで洗濯をする…かつて日常的だった懐かしい光景を記録映像で蘇らせます。

母の手仕事 一日々の暮らしの記録

上映日 11/27、11/29、12/1、12/3(14時より) 12/5、12/10(13時30分より)

監督 / 編集：井上実 編集協力：村石誠 フィルム撮影演出：時枝俊江 撮影：岩田まき子
ビデオ撮影：中井正義 照明：長谷川明夫 音響：黒澤道雄

記録映画作家・時枝俊江監督が1990年から3年間かけ、専業主婦だった小泉スズさんの「昭和の家事」の様子をフィルムに記録していました。その11時間に及ぶ衣食住に関わる家事の映像をデジタル化し、ひとつの作品にまとめました。スズさんの家事記録は失われた昭和の生活誌であり、女性史の一具体例として見ることもできます。



スズさん
～昭和の家事と家族の物語～

(カラー / 86分)

製作：記録映画保存センター

「母の手仕事」の中で手仕事を紹介しているスズさんとその家族を描いたドキュメンタリー映画です。



ポレポレ東中野

03 3371 0088
pole2.co.jp

上映期間：2021年11月27日(土)～12月10日(金)

料金：一般 1500円 大学・専門・シニア 1200円

★『スズさん』半券提示で1000円！（窓口でのみ有効 / web決済では使用不可）

昭和30年代の社会を描いた短編映画を同時上映

高度経済成長を経て世の中は便利になり、家事は電化され、生活から手仕事が少しずつ消えていった。現在にまで続くエネルギー問題、気候変動の引き金ともなった時代であった。そうしてたどり着いた今、便利さを追求する一方で、アナログな、手触りのあるモノの良さを再発見する動きも見られるようになった。

記録映像に残された昭和の生活を「主婦の暮らし」「子どもの暮らし」「住宅問題」「農村の暮らし」に分けて上映することで昭和30年代の空気を体感して頂きます。過去の歴史からこれからの暮らしを見直すピッタリなひとコマが見つかるかもしれません。

プログラムA “主婦の暮らし” 編

製作：岩波映画製作所
(モノクロ/計89分)

上映日 11/28(14時より)、12/6(13時30分より)

「町と下水」 1953年 21分

演出：羽仁進 撮影：藤瀬季彦

人口が都市に集中し始めると住宅地は郊外に広がったが、水道・下水・ガス等のインフラ整備は追い付かず、スズさんの家も水洗トイレ



「町の政治—べんきょうするお母さん」 1957年 31分

演出：時枝俊江 撮影：藤瀬季彦

郊外住宅に住む主婦たちが身近な問題をめぐり市政に関心を持ち、政治に参加することで問題解決を目指す。民主主義を啓蒙する公民



「路地のある街」 1956年 11分

演出：京極高英 撮影：小村静夫

昔も都市生活のゴミ問題は深刻であった。家庭から出た生ゴミは庭に埋めるほか、多くは川や空き地に不法投棄され、ハエやネズミに



「村の婦人学級」 1957年 26分

演出：羽田澄子 撮影：小村静夫

農村部でも戦後の民主化の波が押し寄せて来た。農家で小さくなっていった主婦が婦人学級に集まり自分の意見を持ち、発言していく母



プログラムB “子どもの暮らし” 編

製作：桜映画社
(モノクロ/計86分)

上映日 11/30(14時より) 12/7(13時30分より)

「おやつ」 1955年 21分

監督：西岡豊 撮影：牛山邦一

戦後のベビーブームの中で、子どもに安全で衛生的なおやつをどう与えるのか。駄菓子や紙芝居等、当時の子どもの夢が生き生きと記



「おやじの日曜日」 1959年 29分

監督：金子精吾 撮影：佐藤昌道

まだまだ家長制度が残る都市の工場労働者一家の日曜日。家族が父親に仕掛けるサプライズに、変わりゆく父親像と家族の姿を見るこ



「遊び場のない子どもたち」 1965年 36分

監督・撮影：菊地周 編集：亀井文夫

高度経済成長に突き進む日本社会。その中で大人も子どもも元気いっぱいだった。たくましく遊び場を求めて遊ぶわんぱく少年たち。



プログラムC “住宅問題” 編

製作：英映画社
(モノクロ/計61分)

上映日 12/4、12/8 (13時30分より)

「スラム」 1962年 34分

監督：新井英郎 撮影：江馬民雄

スズさん一家が狭いながらも小さな家を持てた反面まだ敗戦からたっても高度成長にも取り残された人々は劣悪な住宅生活を強いられていました。日本にも



「新しい街」 1964年 27分

庶民の住まいは小さな戸建住宅やアパートから団地と呼ばれた集合住宅へ移行していきます。団地生活は庶民のあこがれでしたが昭和30年代も後半になると高層のマンション建設が始ま



プログラムD “農村の暮らし” 編

製作：記録映画社
(モノクロ/計62分)

上映日 12/2(14時より)、12/9(13時30分より)

「おふくろのバス旅行」 1957年 21分

監督：菅家陳彦 撮影：江連高元

農村の民主化は各地にできた青年団活動が後押しした。村の青年たちが母たちを慰安バス旅行に送り出す企画を考えました。まだ村には青年がたくさんいた時代です。



「刈干切り唄」 1959年 41分

監督：上野耕三 撮影：金山富男

古くから唄い継がれた民謡「刈干切り唄」で有名な天孫降臨の伝説の地、宮崎県日向の高千穂地方には昔ながらのどかな農村風景が残っていました。そこで人々はたくましく暮

